

# ふくい 社会福祉

2024  
11  
No.469

Fukui Social Welfare



第71回県社会福祉大会を10月26日に福井市の県生活学習館（ユー・アイふくい）で開催しました。社会福祉の向上に功績があった方々の表彰のほか、これからの多文化共生をテーマにしたタレントのパクンマクンによる記念講演や、県内で活躍するタイ人介護技能実習生の母国の文化などを紹介する展示もありました。

（7Pに関連記事）



## CONTENTS

- 2,3P **特集** 未来を担う子どもたちに 福祉の仕事の魅力を発信
- 3P 案内 ◆ 県立盲学校入園・入学希望者募集
- 4P 報告 ◆ 奥能登豪雨災害被災地の状況
- 5,6P 報告 ◆ 県社会福祉大会表彰者名簿
- 7P 報告 ◆ 第71回県社会福祉大会開催  
連載 ◆ 経営相談Q & A
- 8P 連載 ◆ みんなdeつながろう！ Vol.9
- 9P 報告 ◆ ねんりんピック結果  
広告 ◆ ボランティア活動保険
- 10P 報告 ◆ 外国人材が介護現場で活躍しています  
報告 ◆ 寄付・寄贈



# 未来を担う子どもたちに 福祉の仕事の魅力を発信

福祉人材の確保が困難となるなか、直近の人材確保だけでなく、若年層に身近な仕事のひとつとして福祉の仕事に関心を持ってもらうことが重要な課題となっています。しかし、福祉の仕事は様々な職種があり仕事の内容も見えづらく、若年層の人たちが福祉の仕事について知る機会は限られています。

福祉従事者の職業選択の動機として、利用者や職員との交流体験を挙げることが多いことから、仕事体験等を通じて福祉の職種や仕事の内容を知ること、実際に現場を知ることが、将来の福祉人材の確保に繋がる重要な取り組みであると言えます。

本号では、福祉の職場にはどのような専門職が働き、具体的にどんな仕事をしているのかなどを知ってもらえる機会をつくり、将来の福祉人材のすそ野を広げるための新たな取り組みについてご紹介します。

## 福祉の仕事を楽しむ

### 体験できる機会の創出

## ふくしキッズ プロフェッショナル事業

小学校高学年（4年生〜6年生）を

対象に、実際に働いている福祉職員と一緒に楽しみながら仕事の一場面を体験することで、福祉の様々な職種や仕事の内容を知ってもらい、将来の職業選択の一つとして考えてもらえるようになることを目的に実施します。

今年度は、介護福祉士、障がい支援員、看護師、保育士の各種別団体等協力のもと、4職種の体験コーナーを開設します。1職種の体験時間は約75分、1日3回、2日間で6回実施します。体験した児童には、修了証と給料（専用通貨）を渡し、その給料で買い物してもらえます。

開催日時／令和6年11月30日(土)

12月1日(日)

両日とも10時〜16時

会場／ラブリイパートナー・エルパ

1階 イベントスペース

定員／144名（2日間）

参加費／無料

具体的なタイムテーブルはこちらの二次元コードからチラシをご確認ください。



当日会場での体験受付も行っているほか、各職種のパネル展示もあります。また福祉の仕事やボランティアに関する

る相談も受け付けています。ご家族そろってのお越しをお待ちしています。

## 体験コーナープログラムと 協力団体からのメッセージ

### 【介護福祉士】

テーマ「介護のお仕事では、ロボットも活躍！〜さあ、体験してみよう！〜」  
●実際の介護ロボット「Hug」を操作して椅子からの移動を体験しよう  
●高齢者の疑似体験をしよう  
協力／一般社団法人福井県介護福祉士会



介護ロボット「Hug」

### ◆会長 篠崎智江さん

介護福祉士は、介護のお仕事で中心となつて活躍しています。介護ロボットやICTも取り入れ、最先端の介護サービスを提供しています。お仕事体験を通して、介護の仕事の魅力を知って欲しいと思っています。



【障がい支援員】  
テーマ「目の見えない方をサポートするってどんな仕事？」

●目が見えないってどんな感じ？  
●白杖を使って歩いてみよう  
●点字で名前を書いてみよう  
協力／福井県身体障害者(児)援護施設連絡協議会



白杖



携帯用点字器

### ◆会長 古市峰子さん

皆さんは目が見えない世界を想像したことがありますか？真っ暗闇？怖そう？今回は目が見えない世界と見えな方をサポートする仕事を体験していただくこうと思います。体験し誰にでも優しくできる社会に気が付いていただければ嬉しいです。

### 【看護師】

テーマ「感染症予防の基本を知ろう〜看護師が行っている予防対策体験〜」  
●利用者さんへの問診を体験してみよう  
●ノロウイルス感染対策を体験しよう（個人防護服着脱や安全な吐物処理）  
協力／公益社団法人福井県看護協会



### ◆会長 江守直美さん

看護職は、人に寄り添い、人々の健康と命を守る職業です。医療、行政、保育の場や企業など様々な場所で働いて



ています。今回の体験で、子どもたちが人々の「いのち、暮らし、尊厳を守り支える看護職」を目指してくれることを期待しています。

### 「保育士」

テーマ「保育士の一日を体験してみよう」

- 未満児さん(人形)と一緒にふれあい遊びや絵本の読み聞かせをしよう
- 季節の壁面装飾づくりをしよう
- 協力/福井県保育人材センター

### ◆保育コーディネーター

保育士は「未来ある子どもの命、育ちを支え、保護者の子育てを支える」仕事です。今回は、先生になって「赤ちゃんとの関わり方」を通して、優しく温かい保育士体験を味わってください。思わず笑顔になることでしょう。やりがいや魅力が満載です。(体験プログラムの内容は変更される場合があります。)



### 実際に働いてみて

### 福祉の仕事を知る

### 学生版「ちよこつと就労」事業

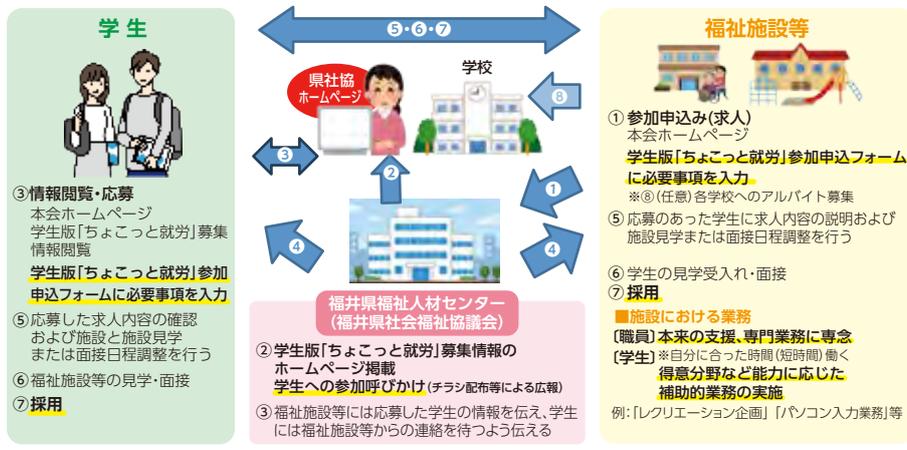
福祉を専攻している学生は、実習等のほか福祉の職場でのアルバイトの機会もありますが、専門外の学生には福祉の職場がアルバイト先の候補として挙がりにくい傾向にあります。本事業では、令和6年10月より学生アルバイトを募集する県内の福祉施設等のアピールポイントや業務内容などの情報を、本会のホームページ上に公開することで学生の目に留まる機会を提供し、福祉施設等でのアルバイトを通じて、福祉の職場の具体的な仕事の内容や福祉職の魅力を理解し、将来の職業選択の一助となるよう実施するものです。

事業開始後、参加申込みをした54事業所の情報を本会ホームページで公開したところ、学生からの問い合わせがあり、うち2人のアルバイト採用が決定しています。

これからも、福祉施設等が就職活動以外の学生に直接仕事の魅力や施設の様子を伝えることが出来る場として、就労意欲の高い高齢者や主婦を対象に行っている『「ちよこつと就労」就職相談会』を福井県立大学永平寺キャンパスで行うなど、学生が気軽に福祉施設

### 「学生版『ちよこつと就労』」スキーム図

**目的** 福祉施設等での学生アルバイト情報を学生に公開し、学生がアルバイトを通じて福祉の仕事内容や福祉職の魅力を理解し、将来の職業選択に寄与することを目的とする。



等の職員と面談する機会を設けていく予定です。

福祉人材センターでは、今後福祉施設等の方々とともに、積極的に学校や若年層への働きかけを行い、福祉の仕事を身近に感じ、その魅力を知ってもらえるよう、また未来の福祉の担い手となってもらえるよう事業を展開していく予定です。

## 見え方でお困りの方へ 福井県立盲学校 入園・入学希望者募集



福井県立盲学校では、見えにくい・見えにくい幼児・生徒を募集します。マッサージや鍼灸(しんきゅう)の国家資格取得を目指す理療科も設置しています。理療科への入学に年齢制限はなく、過去には60歳代の方も卒業されました。入園・入学を希望される方は、下記までご連絡ください。

校訓  
学びあい  
助けあい  
響きあい

- 募集学部** 幼稚部、高等部普通科・理療科(鍼灸マッサージ師養成課程)
- 入学条件** 視力や視野の障がいで見え方に困難がある方。詳しくはお問い合わせください。
- 事前説明** 令和6年12月2日(月)～令和7年1月10日(金)
- 出願** 令和7年1月14日(火)～17日(金) **入学者選考** 令和7年2月10日(月)

【問合せ先】 福井県立盲学校 TEL: 0776-54-5280

# 令和6年9月 奥能登豪雨災害における被災地の状況について

石川県奥能登地方で9月20日夜から22日にかけて降り続いた雨により、輪島市や珠洲市では土砂崩れや河川の氾濫が相次ぎ、広範囲で住宅の浸水や土砂の流入による被害が発生しました。震災からの復旧・復興に向け、着実に歩みを進めていた最中に襲った今回の豪雨災害。現地に派遣されていた県社協職員からの報告です。

## 第40クール(9/16〜22)

小澤澄子、大嶋民恵

私たちは能登半島地震の被災地社協支援のため1月から始まった輪島市派遣の最後のクール(当時)として、支援活動に当たっていました。住民からのニーズも落ち着いてきており、10月からは地元社協だけで対応できるように、体制を整えているところでした。20日深夜から降り始めた雨は止むことなく、21日朝には当日のボランティア受入れを見合わせる事となり、スタッフは事務所(輪島市社協)で待機していました。午前9時に線状降水帯が発生。市内にあるボランティア活動拠点の状況を確認するため、県外からの応援職員3人が現地へ向かいました。敷地内が冠水していたことから、ボランティア送迎用の車両を避難させていましたが、10時過ぎにプレハブの仮設事務

所も浸水。

その後大雨特別警報が発令され、

身の危険を感じて高台

に避難しました。輪島

市社協職員

の助けを得て事務所に戻りましたが、市のボランティア団体等が避難して来られ、会議室を待機場所として利用し、食料提供等の対応もなされました。

応援職員も会議室で一夜を明かし、私たちは翌日、災害救援車両等を目にしながら、予定より1日遅れで帰路につくこととなりました。復興の矢先の出来事に、活動中にお会いした被災者の方々が目に浮かび心が痛みました。

## 第41クール(10/6〜11)

武藤功士

私たち第41クールが派遣された時期は、豪雨発災から2週間が経っていますが、派遣先の輪島市ではようやく家屋などの浸水状況を確認する被害認定調査が始まったところでした。

市のホームページで調査エリアを確認したところ広域浸水地区は輪島地区、



輪島市宅田町のボランティアセンターの様子

門前地区、南志見地区、町野地区の複数集落に広がり、報道では対象は2,000棟に及ぶとのことでした。さらに輪島市社協職員の話では、土砂崩れや土石流による被害地域も点在しており、被害の全体はまだ把握できていない様子でした。

1月の震災により立ち上がった「輪島市災害たすけあいセンター」(災害ボランティアセンター)には、9月22日以降、被災者からの依頼が急増し、2週間で600件近い新規ニーズが寄せられました。中には、地震と水害で二重の被害を受けた世帯も多くみられました。避難所から仮設住宅に入居して間もないうちに床上浸水の被害を受けたお宅や、地震で壊れた家屋を修繕した矢先に土砂が流れ込んできたというお宅、地震の時には何とか救出できた仏壇が今回は水没してしまつて、廃棄する手伝いをしてほしいといった電話の声からは「あきらめ」「無力感」が感じられることもありました。



床上浸水した住宅で作業するボランティア

輪島市災害たすけあいセンターでは、10月以降、ボランティア受入れ数を増やし、輪島地区では1日15〜20件の活動先に延べ100〜150名のボランティア

に入ってもらいました。

しかし、被害が甚大で作業量が多く、その日で完了するケースは、半数程度であり、被災者は、2回目以降のマッチング(日程調整)を待つこととなります。まだ一度もボランティアが入っていないお宅のマッチングを優先していくため、2回目以降のマッチング待ち件数が蓄積していくこと、また、日々入ってくる新規ニーズのマッチングも進まないといった課題がありました。

最後に、震災と豪雨災害の二重災害で大変な状況にある今こそ、被災者にボランティアを届ける必要性を強く感じたエピソードを紹介します。

ボランティアが入ったお宅の高齢夫婦のご主人が、「地震で集落の世帯の多くが、地区を離れていった。さすがに今回の豪雨災害で、地区を離れることも考えていたが、ばあさん(妻)とは、それでもここに居たいと話していた。ボランティアの皆さんが家の周りの膝丈くらいにたまつた土砂を退けてくれて、これ以上被害が出ないように土のうも積んでいってくれた。今まで家の入口はブルーシートを扉代わりにしていたが、これで扉も直せそう。不安が軽くなって、これなら住み続けられそう。気持ちになった」と笑顔を見せて話されていました。あらためて一歩を踏み出すきっかけを引き出すボランティア活動の意義を痛感しました。





## 第71回 福井県社会福祉大会 開催！

去る10月26日(土)、福井県生活学習館（ユー・アイふくい）にて、第71回福井県社会福祉大会を開催しました。まず社会福祉の様々な分野やボランティア活動で長年活躍され、その発展や向上に寄与された373人と3団体の方々に、その功労を称える表彰が行われました。（被表彰者ご芳名は5、6Pに掲載）

その後の記念講演では、タレントのパックンマックンがこれからの多文化共生をテーマに講演しました。二人は「外国人に話しかけづらい、英語を話せないという日本人は多いが、日本に来ている外国人には日本語で話しかけたほうが相手も嬉しいし、日本人は義務教育等で多くの英単語を学んできており、それだけで十分外国人に通じるので勇気を持って話してほしい」と強調。これらのことが外国人や外国の文化を理解する一歩となるということ、パックンとマックンの掛け合いでジョークを交えながら話し、来場者の笑いが絶えない楽しい講演となりました。



来場者とパックンマックン

## こちら経営相談室です！ よくある疑問・質問にお答えします

**Q** 物品寄付を受ける際の会計処理や留意点を教えてください。

**A** 物品が、消耗品など経常経費に対する場合と土地や10万円以上の備品など、固定資産に計上される場合で処理が変わります。



### イ. 経常経費に対する贈与(寄付)の場合

取得のために通常要する価額(時価)により、「経常経費寄付金収益(経常経費寄付金収入)」として会計処理します。

ただし、当該物品が飲食物などで即日消費されるもの又は社会通念上寄付金として取扱うことが適当でないものについては会計処理を省略することができます。

【例】紙おむつ50セット(時価10,000円相当)を利用者の家族から受取った。

|           |        |             |        |
|-----------|--------|-------------|--------|
| 介護用品費     | 10,000 | 経常経費寄付金収益   | 10,000 |
| (介護用品費支出) |        | (経常経費寄付金収入) |        |

カッコ内は資金収支科目

### ロ. 固定資産の贈与(寄付)の場合

土地や10万円以上する車椅子などの寄付物品については、事業活動計算書の「固定資産受贈額」として計上し、資金収支計算書には計上しません。

【例】理事長から土地(時価10,000,000円)を贈与された。

|    |            |         |            |
|----|------------|---------|------------|
| 土地 | 10,000,000 | 固定資産受贈額 | 10,000,000 |
|----|------------|---------|------------|

※寄附金及び寄附物品を收受した場合においては、寄附者から寄附申込書を受けるとともに、寄附金収益明細書(運用上の取り扱い別紙3(②))を作成し、寄附者、寄附目的、寄附金額等を記載してください。

県社協ホームページに、様々なQ&A(二次元コードより)を用意していますのでご活用ください。

県社協 HP > 組織別に探す > 経営支援課 > 社会福祉施設経営相談室 > 福祉施設経営 Q&A



# みんなde つながろう!

このコーナーでは、県内の福祉活動に取り組み  
る皆様をご紹介します。

Vol. 9

第9回は勝山市のショッピングセンター・サンプラザ内で、ボランティアスタッフが運営し、地域の人たちの憩いの場となっている「サンCafé」を紹介します。

勝山市に入ると、市役所から徒歩3分の市街地中心部にショッピングセンター・サンプラザがあります。「サンCafé」は、その2階に令和5年4月にオープンしました。

当時サンプラザの理事長で、開設に尽力した川原勝さんらに経緯や目的などを聞きました。

Q サンCaféを始めようと思ったきっかけは何ですか？

A 街の中心部にあるサンプラザを「買い物場だけでなく、お年寄りから子どもまで、いろいろな人々が集う場、交流する場にした」という思いがありました。それらを整備する費用

について、市役所に相談して、翌年に地域商業複合化推進事業の補助金をもらえることになりました。そのために「かつやま地域共生運営協議会」を設置し、行政や高校生、金融機関の関係者らが集まり、人が集う場にするためにはどのような場とするのがいいか、商業施設だが「営利を目的としない」を合言葉にアイデアを出し合いました。

まずは、スペースの確保とトイレやキッチン、スクリーン等を設置して、子どもと子育て世代の料理教室やスポーツ観戦等、人が集まるイベントを考えました。そのアイデアの一つとして生まれたのが、Caféの運営でした。ただ、場所の提供はできてもCaféを運営する人がいません。そこで、地元市社協のボランティアセンターに相談し、サンプラザがCaféの運営主体となり、ボランティアスタッフの確保を市社協にお願いして実現にこぎつけました。



サンCafé

Q 市社協としてはCaféの運営をどのように考え、関わっていますか？

A 市社協と市内社会福祉法人による地域交流拠点の開設で、サンプラザと



ボランティアスタッフの交流会

は以前から関係を築いていました。そこで、今回の補助金が決まった時にサンプラザから「か

つやま地域共生運営協議会」への参画の打診を受け、話し合いに参加させていただきました。その中で、Caféの設置運営について検討し、市内各地区市社協に声をかけて賛同していただいた方に、曜日ごとに地区が入れ替わりながらスタッフを務めてもらうことを決定。各地区では、賛同していただける人を増やし、当番を充てていきました。

そうしてCaféが始まると、更に認知症サポーターや認知症高齢者対応グループホームの職員、利用者の方、中学生とボランティアの輪が広がっていきました。現在、総勢50名以上の方々に関わっていただいています。

年に1、2回ボランティアスタッフの交流会を開き、お互いに知り合う機会を作り、意見を出し合い運営に反映させています。

取材当日にいられていた荒土地区のボランティアスタッフにお話しを伺いました。

Q どのくらいのペースで活動されていますか。

A 無理のないように月1回、3時間活動しています。ここに来て、珈琲等をお出ししてお客さんと話しをするのがとても楽しみです。

Q 車椅子利用のお客さんにもお話しを伺いました。

Q サンCaféはいかがですか？

A 家にも横になってテレビを見るか天井を見ているだけなので、天気が良いれば毎日来ます。

ここに来れば、好きな珈琲が飲める。いろんな話が聞ける。何より私の話を聞いてもらえるのが嬉しいです。

川原さんは「今後も、勝山市内のいろいろな団体と連携・協力し、アイデアを出し合い、地元の多様なライフスタイルを持つ人たちの共生の場をつくっていききたいです」と活動の継続・発展に意欲的です。

## あしがき

サンCaféの売り上げは順調で、年間数十万円の利益があり、その利益は勝山市共同募金会に寄付されているとのこと。今回は、関係機関・団体が積極的に連携しつながら、三方よしとなっている事例を紹介しました。勝山を訪れることができましたら、ぜひサンプラザの2階にお立ち寄りください。これからも応援しています。

# 全国健康福祉祭福井県選手団上位入賞者

去る10月19日(土)～22日(火)に開催された第36回全国健康福祉祭とっとり大会(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)の本県選手団の入賞者を紹介します。

テーマ 咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花

派遣選手数 144名(美術出品者7名を含む)

※個人名の敬称は省略させていただきます。

福井県選手団



| 種目・部門            | チーム名・個人名          | 成績                 |
|------------------|-------------------|--------------------|
| 健康マージャン(個人戦)     | 辻 嘉文              | 優勝                 |
| ボウリング(個人戦)       | 山内美代子             | 準優勝                |
| 水泳80～84歳男子自由形50m | 山本 厚生             | 2位                 |
| 水泳80～84歳男子自由形25m | 山本 厚生             | 2位                 |
| 水泳60～64歳女子背泳ぎ25m | 宮川ゆかり             | 2位                 |
| 水泳60～64歳女子自由形25m | 宮川ゆかり             | 2位                 |
| マラソン60～69歳女子3km  | 岡田 裕美             | 3位                 |
| 卓球               | 福井県               | 優秀賞                |
| ソフトボール           | 球愛クラブ             | 優秀賞                |
| ゲートボール           | ほうれんそう            | 優秀賞                |
| マラソン70歳以上女子 3 km | 岩本利恵子             | 優秀賞                |
| マラソン70歳以上男子10km  | 荻野 真治             | 優秀賞                |
| ウォークラリー(打吹コース)   | 坂井市レク協スーパーウォーカーズ3 | 優秀賞                |
| バウンスボール          | エンゼル291           | 優秀賞                |
| 囲碁(個人戦)          | 内倉 輝子             | 優秀賞                |
| 囲碁(個人戦)          | 山畑 純一             | 優秀賞                |
| 美術展(日本画部門)       | 加藤 桂子             | (一財)長寿社会開発センター理事長賞 |
| 美術展(写真部門)        | 辻 幸子              | 銅賞                 |

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

## ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

### 保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

| 保険金の種類        | プラン                  |                          |         |
|---------------|----------------------|--------------------------|---------|
|               | 基本プラン                | 天災・地震補償プラン               |         |
| ケガの補償         | 死亡保険金                | 1,040万円                  |         |
|               | 後遺障害保険金              | 1,040万円(限度額)             |         |
|               | 入院保険金日額              | 6,500円                   |         |
|               | 手術<br>保険金            | 入院中の手術                   | 65,000円 |
|               |                      | 外来の手術                    | 32,500円 |
|               | 通院保険金日額              | 4,000円                   |         |
|               | 特定感染症                | 補償開始日から補償 <sup>(*)</sup> |         |
| 地震・噴火・津波による死傷 | ×                    | ○                        |         |
| 賠償責任の補償       | 賠償責任保険金<br>(対人・対物共通) | 5億円(限度額)                 |         |
|               | 年間保険料                | 350円                     | 500円    |

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

### <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
〈保険会社〉 TEL:03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間: 平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

< SJ23-11315より抜粋 >

# 外国人材が介護現場で活躍しています

～本会で受入れ支援をしているタイ人技能実習生について、現場での様子や実習生たちの声をお伝えします～

介護現場で不足する人材の確保は喫緊の課題であり、外国人材の需要はますます高まっています。本会では、県や県介護福祉士会と連携して、県内の介護施設へのタイ人技能実習生の受入れ支援を行っています。

令和4年4月に第1期生6名が入国して以来、これまでに43名（県内17施設）を受け入れました。実習施設での丁寧な指導や本人の努力もあり、介護現場で不可欠な存在として活躍中です。実習生たちが熱心に介護に励む様子を見て、レポートで実習生を受け入れる施設も増えてきています。

今回は本会の実習生を受け入れている施設での活動の様子や実習生たちの声をお伝えします。社会福祉法人友愛会「楊梅苑」（おおい町）では、これまで3回にわたり5名の実習生を受け入れていただいています。

## 技能実習責任者の土井次長

「初めてタイからの技能実習生を受け入れることが決まった時、文化の違いや共通言語がないことで、実習に支障がないか、また、介護に対して熱心に向き合ってくれるかなど不安がありました。しかし、実際に彼女たちを受け入れてみると、一番不安を抱えているはずの彼女たちの表情はいつもはつらつとし、優しい笑顔でご利用者様にも職員に対しても丁寧な日本語で会話をする姿にとっても驚かされました。何より、彼女たちの実習に対する姿勢は、受け入れた側の私たち施設職員が、日々感化を受けており、初心を振り返る気持ちになるほどです。同時に、施設の雰囲気にも変化があり、外国人材の活躍は業務だけにとどまらず、大きな影響があったと

感じています」



写真は楊梅苑からの提供

## 令和6年1月から実習をしているヨーさん

「介護の仕事は、スキルや知識、理解力が求められる仕事だと感じます。職員の方々が丁寧に仕事を教えてくれたおかげで、徐々にスムーズにできるようになってきました。仕事では記録の作成やデータ入力、おやつ準備、利用者様の入浴やトイレの介助などを任されています。今では実習を始めて約10か月が経ち、介護のスキルもだいぶ向上しました。将来は、この実習で得たスキルを活かして、介護に興味がある人たちに教えていきたいです」

## 令和4年10月から実習をしているピウさん

「職員の皆さんはとても親切で分からないことがあれば親切に教えてくれます。仕事の内容が自分の力を超えるような場合は無理にさせることはありません。例えば、体重の重い利用者の方を移乗する時は、毎回職員が私にできるかどうかを事前に確認してくれます。将来も介護の仕事が続けていきたいと思っています」

外国人の皆さんが福井に愛着を持っていただき、福井に定着して地域の介護を支える存在として元気に活躍いただくことを期待しています。

本会では、毎年春と秋の2回、定期的にタイ人技能実習生の受け入れを行っています。ご関心がある方はお気軽にご連絡ください。

問合せ 外国人介護職員支援センター TEL0776-24-0086 E-mail: kaigo@f-shakyo.or.jp

## 寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に心から感謝申し上げます。

皆様の善意は有効に活用させていただきます。

♥9月25日 寄付者 トータル・ライフ・コンサルタント福井会様 ●5万円

寄付先 福井県社会福祉協議会(地域共生社会推進活動、能登半島地震被災地支援活動)

♥9月30日 寄付者 一般社団法人 生命保険協会福井県協会様

●障がい者支援団体助成金 10万円 ●エコキャップ 88万7,702個

寄付(贈)先 助成金:社会福祉法人 ハスの実の家

エコキャップ:福井県社会福祉協議会(ふくいエコキャップ運動委員会へ)

♥10月2日 寄付者 楽しくゆかいなコンサート実行委員会様 ●寄付金 6万889円

寄付先 福井県社会福祉協議会(子ども未来応援バンク、能登半島地震被災地支援活動)

♥10月3日 寄贈者 県民せいきょう 岡保きらめき様 ●利用者の手縫い雑巾 70枚

寄贈先 石川県輪島市社会福祉協議会(輪島市災害たすけあいセンターでの水害復旧支援活動)

♥10月9日 寄付者 明治安田生命保険相互会社福井支社様 34万1,800円

寄付先 福井県社会福祉協議会(子ども未来応援バンク)

